

ディスカバー むら 農山漁村の宝



令和5年度

東北農政局管内優良事例集

令和6年4月
東北農政局

東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の概要

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、**農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例**を選定し、全国に発信しているもの。また今回は、過去に選定された取組を対象に、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例については、**第10回記念賞として、1地区を選定**。

全国で選定された地区以外にあって、東北農政局管内には数多くの優良な事例が存在していることから、東北独自の特徴ある優れた取組について、東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、今後の活躍が期待できる取組を東北農政局「ディスカバー農山漁村の宝」奨励賞として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとする。

選定の対象及び選定方法

選定の対象は、内閣官房及び農林水産省が実施した募集において**東北農政局管内から応募のあった103件**のうち、全国表彰で選定された4地区を除いた99件。

選定に当たっては、農政局内に設置した「選定委員会」による審査を経て、**7地区及び1名を優良事例**として選定し、**10地区を奨励賞**として選定。

選定証授与式・意見交換

令和5年12月22日(金曜日)仙台市内において、選定証授与式を開催。
選定証授与式では、前島東北農政局長から選定地区の代表者へ選定証を授与。

式典後、東北農政局選定地区及び全国選定地区による意見交換を行った。



前島東北農政局長からの挨拶



受賞者への選定証授与



受賞者の記念写真



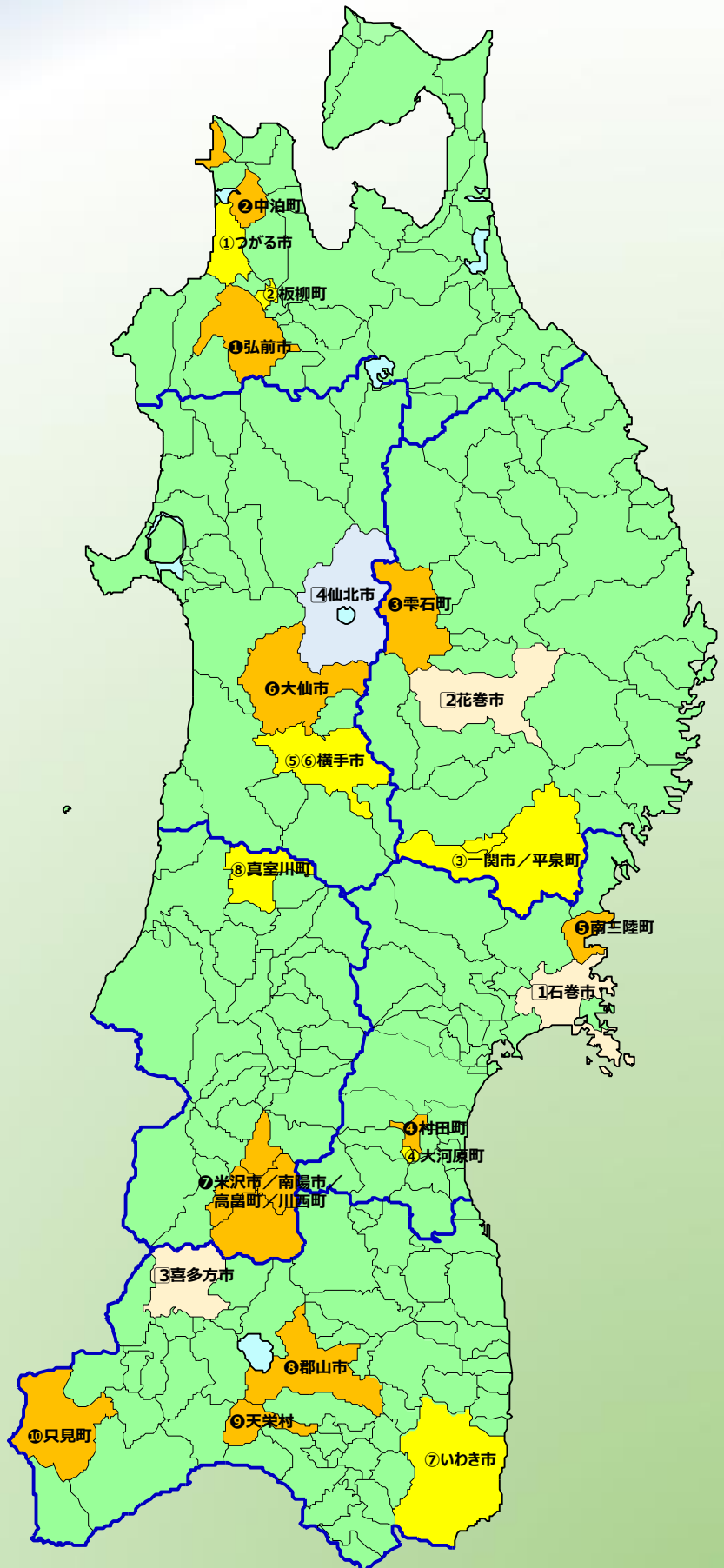
意見交換

令和5年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定地区位置図

令和5年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定7地区、1個人		
ビジネス・イノベーション部門		
株式会社黒滝農園	青森県つがる市	①
就労継続支援A型 にじのいろ	青森県板柳町	②
一関研農同志会	岩手県一関市／平泉町	③
宮城県柴田農林高等学校 森林環境科 森林専攻	宮城県大河原町	④
農事組合法人 館合ファーム	秋田県横手市	⑤
コミュニティ・地産地消部門		
秋田県南旭川水系土地改良区	秋田県横手市	⑥
福島県立小名浜海星高等学校【商業科】	福島県いわき市	⑦
個人部門		
佐藤 栄子	山形県真室川町	⑧
令和5年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 奨励賞		
歴史と伝説の里「鬼沢の会」（岩木川土地改良区）	青森県弘前市	①
十三湖地域環境公共推進協議会（十三湖土地改良区）	青森県中泊町	②
雫石町立雫石中学校家庭部	岩手県雫石町	③
一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター	宮城県村田町	④
入谷の里山活性化協議会	宮城県南三陸町	⑤
大曲環境協議会	秋田県大仙市	⑥
米沢地方森林組合	山形県米沢市／南陽市／高畠町／川西町	⑦
郡山女子大学 家政学部 食物栄養学科	福島県郡山市	⑧
天栄米栽培研究会	福島県天栄村	⑨
合同会社ねっか	福島県只見町	⑩

「第10回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 全国選定3地区		
ビジネス・イノベーション部門		
一般社団法人イシノマキ・ファーム	宮城県石巻市	①
コミュニティ・地産地消部門		
高松第三行政区ふるさと地域協議会	岩手県花巻市	②
本木・早稲谷 堰と里山を守る会	福島県喜多方市	③

「第10回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 第10回記念賞		
仙北市農山村体験推進協議会	秋田県仙北市	④





青森県つがる市

6次産業化

農福連携

① 株式会社 黒滝農園

つがるの田園を守り、攻めの農業を次世代へ

★ 青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島



飼料用米「ゆたかまる」の刈り取り



黒にんにく、にんにく塩糎などの加工品



農福連携の体験実習でにんにくの皮むき指導

概要

飼料用米を主体とした経営の安定化とにんにく加工品販売による高収益化の実現。新規就農者育成と雇用を創出。

取組の効果

- 米価変動の影響を緩和するため、主食用米から飼料用米に、土地利用型転作作物として小麦から労働生産性が高い大豆に、転換したことにより、水田農業の規模拡大につながった。
- にんにくの下位等級品を「黒にんにく」や「にんにく塩糎」として製造・販売し、6次産業化に取り組む。地元直売所や量販店、EC販売、つがる市のふるさと納税返礼品採用など多様な販売ルートを確立出来た。
- 就農希望者4名を受入れ、栽培方法や営農計画の指導、就農に必要な農地のあっせん、機械を貸し出す支援を行っている。うち3名は独立して就農。
- 令和3年に障がい者の農作業体験をきっかけに、加工品のラベル貼りやにんにくの農作業を障がい者施設に委託。



青森県板柳町

農福連携

スマート農業

② 就労継続支援A型 にじのいろ

〈出来ないかも〉からのスタートで大丈夫！

★ 青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島



露地ピーマン定植作業



ノフクJASシールをつけてピーマンの出荷



依頼を受けた小玉スイカの定植作業

概要

農作業の細分化による出来ることの発見、適した作業の発掘を行うことにより、福祉施設での農業取組を開始。

ハウス及びAIによる液肥供給管理システムを導入し、管理負担の軽減と農業への取り組みやすさを実現。

取組の効果

- 耕作放棄地を取得しピーマンの栽培を開始。JAのピーマン部会に入会することをきっかけに、同部会員の農家から指導を受け、農業未経験のスタッフが農業技術を習得すると同時に農業用ハウスとAIによる液肥供給システムを導入することにより、管理負担の軽減と農業への取り組みやすさを実現。
- 栽培2年目から青果市場に出荷を開始し、丁寧な選別、袋詰めと安定出荷が評価されている。栽培5年目には、ノフクJASを取得。また、ピーマンの栽培マニュアルを地域に無償提供したことで、新規に作付ける農家が増加。
- 自社の取組がメディアに取り上げられることにより、小玉スイカ栽培農家から定植依頼を受けた。独自の作業細分化で、3時間で1,300本の定植を完了できるようになり、手際の良さと作業の確実性が称賛され、次年度の継続依頼も獲得した。



岩手県一関市／平泉町

スマート農業

伝統の承継

③ 一関研農同志会

日本一農業の創造～若手が魅せる先進農業～

青森

秋田

★
岩手

山形

宮城

福島



スマート農業導入開始式



ごみ拾い活動



令和2年度スマート農業勉強会

概要

一関遊水地事業とは場整備事業によって大区画ほ場が誕生したことにより、地域の発展を強く望む若手農業者が団結して会を設立。

いち早くスマート農業を導入し、地域を先導する立役者となっている。

取組の効果

- 設立当初から毎年国内外の先進地を研修し、令和元年からはスマート農業勉強会を開催。このような活動を通じて若手農業者の知識向上を図ると共に、研修報告会を行うなど地域にスマート農業が根付く環境を地道に整備してきた。
- 平成28年からRTK基地局やGPSレベラーを導入。令和2年からはRTK基地局を利用したロボットトラクタや自動操舵システム、固定翼ドローンによるリモートセンシングを取り入れスマート農業が広く展開されている。
- 平成29年度から毎年3月に地域の主要幹線道路5kmのゴミ拾いを行っている。この活動は幹線道路に隣接する農地への不法投棄が多く、ゴミによる農作業事故の防止や地域の景観形成を整備する目的で開始した。この活動を通して、個人の農地という認識から、地域全体の農地という認識を持ってもらう取組となった。



宮城県大河原町

6次産業化

食育・教育

4

宮城県柴田農林高等学校

森林環境科 森林専攻

一雫からはじまるメープルストーリー

青森

秋田

岩手

山形

★
宮城

福島



樹液採集装置を設置



「青根の雫」30ml 小瓶

概要

カエデ属の樹から樹液を採集し、メープルシロップを製造。地域の企業と連携してメープルシロップを使用した新商品づくりに取り組んでいる。



初めての地元企業とコラボ商品

取組の効果

- メープルシロップ作りは平成29年の冬から開始。樹液採取の方法も分からず試行錯誤を繰り返しながら、採集時期や方法、濾過方法等の製造を確立した。シロップを煮詰める工程では、薪を使用してCO2排出量削減にも取り組んでいる。
- 平成30年から販売をスタートし、美味しくて貴重な国産のメープルシロップとして地域の方々から評価受け、令和3年には地元企業と初めて2つのコラボ商品を開発。令和4年には、新たに2社と商品開発を進めている。
- ラジオや新聞にも取り上げられ、地域の新しい特産品として少しずつ認知度が広がっている。



秋田県横手市

雇用

6次産業化

5

農事組合法人館合ファーム

地域の農業を担い、農村住民を支援する地域の中心的な法人

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島



地域資源の活用「伝統食 すいか糖の製品」



耕作放棄地の防止「水田・畑の維持・管理」



雇用の増大「菌床しいたけのハウス栽培」

概要

水稲栽培と作業受託、すいか、ほうれんそう等を栽培。
また、伝統食で農商工連携、所得・雇用の増大、地産地消への取組、耕作放棄地発生の防止など幅広い分野に取り組んでいる。

取組の効果

- ライスセンターの運営を母体に役員、構成員併せて22名で法人を設立し、周年雇用を考え、すいか、ほうれんそう、しいたけ栽培を開始。
- 地域の伝統食として高血圧改善等に効果があるとされる、すいか果汁を長時間煮込んだジャムのような「すいか糖」を加工・販売。
- すいかやほうれんそう、しいたけ(冬期出荷)を導入し、6名の周年雇用を実現し後継者を育成している。また、15名の女性を臨時雇用し、障害者雇用も毎年継続。小学校の学校給食にほうれんそうを提供している。
- 高齢化により農業を継続できない農家の受け手となり、農地の維持・管理を行うことで、耕作放棄地発生を未然に防止。



秋田県横手市

農林漁業
農村文化体験

食育・教育

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島

⑥ 秋田県南旭川水系土地改良区

学びの場を地域の子供達へ



国営旭川左岸幹線用水路視察



キャベツの収穫



泥んこドッジボール

概要

農業用水の水源や経路を知る体験学習会、水源となる河川と触れ合う学習会、地産地消を考えた農園活動などを行うことで、農業農村に対する理解の醸成を図っている。

取組の効果

- 平成16年から地元小学生を中心に農業への理解醸成に取り組む活動を始めた。
- ダム～頭首工～水路を見て回る施設体験学習会を実施し、毎年120名程度が参加。水の大切さ、農業水利施設の役割、用水路への転落防止などの普及啓発に取り組んでいる。
- 農業はきれいな川を含め地域全体で成り立っていることを知ってもらうため、手作り筏によるラフティングや仮設プールで魚の掴み取りなど、自然とふれ合う学習を漁協と連携し行っている。
- 小学校と連携し、花・キャベツ等の栽培、菜種油の採取、水田での泥んこドッジボール、餅つきなどに取り組んでいる。特に、横手焼きそばを身近に感じてもらう取組として、キャベツ栽培を長年行っている。



福島県いわき市

多面的機能の
保全・発信

食育・教育

7

福島県立小名浜海星高等学校

【商業科】

小名浜から元気を全国へ発信します！

青森

秋田

岩手

山形

宮城

★福島



木戸川で鮭の稚魚放流と商品開発



間伐材の釣り竿と木魚 Cotton の糸

概要

高校生が地域資源を活用したソーシャルビジネスの提案をし、その取り組みを通して地域課題を払拭し、福島県の元気発信と復興を目指している。



地元果汁を使ったわたあめ販売

取組の効果

○東日本台風によってキウイ園が水没し収穫量が激減したことを知り、規格外のキウイを収穫し、地元パン屋での商品を開発。

○キウイの商品開発をきっかけに、楢葉町の木戸川漁港から、遡上数が激減した鮭のために商品開発の協力依頼があり、地元小名浜の企業と連携して商品開発を行っている。

○浜通りの復興につながればとして始まった「フルーツわたあめ®」の新メニューに、いわき市のキウイや鏡石町の桃やイチゴが加わり、出店依頼が地元以外からも来るようになった。

○新しいサービスの創造としては、昨年度開発した【常磐もの釣り体験セット（収穫した Cotton で紡いだ糸、県産間伐材で釣り竿と常磐もののサバとサンマ）】を、イベントの賞品として提供することを開始。



山形県真室川町

農泊

教育機関との連携

⑧ 佐藤 栄子

癒しの田舎で料理と自然満喫！果菜里庵

青森

秋田

岩手

★
山形

宮城

福島



裏山の木材を利用した入屋造りの農家民宿
果菜里庵全景



農業体験：芋堀り



農業体験：加工品づくり ピクルス



山形大学フィールドワーク

概要

自家栽培の野菜・山菜を利用した農業体験型民宿と、野菜や山菜を使用した加工品で最上伝統の味を広めている。

取組の効果

○平成28年度より、「山形大学フィールドワーク真室川」を受け入れ、大学生が農業体験を通じて、「食」と「農」の大切さを学ぶ機会を提供。

○伝承野菜を自家栽培しながら、素材を活かした加工品づくり（主に漬物）を体験実習として行っている。また、米と大豆を使った「味噌」の加工体験に取り組んでいる。